

様式2 (指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨	所管課	産業政策課
所在地	甲府市大津町2192-8	設置年月日 (改築年月日等)	平成7年7月7日
管理方式	指定管理者(公益財団法人やまなし産業支援機構、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県産業展示交流館設置及び管理条例		
設置目的	産業に関する製品の展示等を通じ、情報、技術、文化等の交流を促進し、もって本県における地場産業の振興及び文化の向上を図るため、産業展示交流館を設置する。		
主な施設内容 (定員等)	展示場(全面利用、三分の二利用、三分の一利用)、屋外展示場、大会議室、展示場に係る設備(冷房設備、暖房設備、音響設備等)、設備器具(テーブル、演台、いす、パネル、スクリーン等)(展示場面積 4,860㎡、屋外展示場面積1,080㎡、大会議室面積212㎡150席)		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 上記のほか、知事が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	(1) セレス甲府 (2) 甲府市総合市民会館
---------------------	----------------------------

3 利用状況

単位: 人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用率	利用率	30.9	34.4	34.6	35.0
	利用者数合計	30.9	34.4	34.6	35.0
	目標値	30.0	30.0	33.0	35.0
	目標値設定の考え方	リピーター28% 新規開拓 2%	リピーター28% 新規開拓 2%	リピーター30% 新規開拓 3%	リピーター30% 新規開拓 5%
	対23年度比	100.0%	111.3%	112.0%	113.3%
稼働率(利用率)					

4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	101,212,573	97,000,000	111,958,663	102,087,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	8,576,011	8,204,000	8,602,638	15,513,000
	収入合計(A)	109,788,584	105,204,000	120,561,301	117,600,000
支出	人件費	23,425,323	30,020,000	27,835,890	30,231,000
	県への納付金	11,294,400	12,294,400	12,174,400	12,294,000
	管理運営費	74,976,342	62,882,000	79,947,367	73,736,000
	(うち外部委託費)(B)	25,531,044	25,400,000	24,412,850	25,730,000
	支出合計(C)	109,696,065	105,196,400	119,957,657	116,261,000
収支差額(A - C)		92,519	7,600	603,644	1,339,000
外部委託比率(B ÷ C)		23.3%	24.1%	20.4%	22.1%
利用者一人当たりの経費		0	0	0	0

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成25年4月～平成26年3月、実施方法:利用者満足度のアンケート、回答数:84人
-------	--

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
A施設・設備の整備状況	95.2%	3.6%	1.2%	0.0%
B施設のサービス提供	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%
C職員・スタッフの対応	98.8%	1.2%	0.0%	0.0%
D施設全体の満足度	96.4%	2.4%	1.2%	0.0%
E再度利用希望	98.8%	1.2%	0.0%	0.0%
各項目の平均	97.1%	2.4%	0.5%	0.0%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料金が低い。 ・アクセスが悪い。 ・クギが落ちていた。 ・控え室のゴミがそのままだった。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・条例で定められている事項については、指定管理者としての措置は難しい旨伝えた。 ・路線バス等については、今後検討していきたい。 ・設備、清掃については直ちに対応した。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務計画書どおりに適正に業務を執行した。 地震災害等による危機管理マニュアルの作成を引き続き行う。	維持管理計画書及び維持管理マニュアルに基づき、概ね適正に実施されている。
運營業務	業務計画書どおりに適正に業務執行した。 MICE編集会議に出席し、積極的に意見交換、情報交換を行った。	業務計画書に基づき、概ね適正に実施されている。
自主事業	業務計画書どおりに適正に業務を執行した。 一部のイベントについては、会場の見直し等により、実施されないこととなった。	一部のイベントが会場の見直しにより、実施されなかった。全体的に利用率は前年値・計画値を上回るが、さらなる利用率向上のため新規の自主事業の可否等検討を望む。
利用状況	臨時的なイベントの増加、新規分野の開拓として力を注いできた分野が更に拡大し、目標値の達成ができた。また、ワンストップサービスを行う事により、地域の活性化に繋がった。	利用率は前年値及び目標値を上回っており、営業活動の成果と評価される。引き続きリピーターの確保や新規利用者の定着、新規分野の開拓等に取り組むことを望む。
収支状況	臨時的なイベントの増加、新規分野の拡大、更にリピーターの確保に努めた成果が現れてきた。利用率も予定より上回り、当初の計画に比べて増収となった。	収支差額は、前年値及び計画値を上回っており、管理業務及び営業活動の成果と評価される。引き続き、節電対策等により支出を抑えつつ、リピーターの確保、新規利用者の定着等により収入の増加を望む。
利用者満足度	利用者満足度調査については、利用者の9割近くが満足とする結果が出たので、一定の評価を得られた。	調査の結果、利用者の97%が『満足・十分』、約99%が『再度利用希望』と評価しており、概ね適正に運営されている。引き続きサービス向上に努めることを望む。
運営目標の達成状況	展示場の利用について、リピーターの確保や新規開拓に力を注いできた成果が現れ、当初の目標を達成することができ、当初の計画に比べて増収となった。今後とも継続して営業活動を行い、新規利用者の定着化、更には新規分野の開拓を図ることが課題である。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理・運営は、業務計画書に基づき適正に運営されており、引き続き適正な業務執行を望む。 ・利用率・収入状況は、共に前年値・計画値を上回っている。平成26年度には、利用率の目標値が引き上げられているため、リピーターの確保や新規開拓、新規利用者の定着化に向けた営業活動等、さらなる利用率の向上に努めることを望む。 ・利用者満足度調査では、概ね高い評価を受けているが、さらなる満足度の向上を目指して、引き続きサービス向上に努めることを望む。 	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理・運営については、引き続き業務改善及び各種マニュアルの作成を行い適正な業務執行を行っていく。 ・展示場の利用率向上・収入増加に関しては、積極的な営業活動を行い、さらなる新規利用者の獲得とリピーターの定着化に向け努力していく。 ・利用者の皆様に、より一層満足して頂ける様に、引き続きサービス向上に努めていく。 	

7 管理体制(組織図)

